



お知らせ

記者発表資料	平成27年 5月18日
配布日時	14:00

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会 平成27年度総会の開催

～クルーズ振興のための連携促進に向けて～

平成27年5月22日（金）広島県福山市において「瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会（通称：海ネット）会長：入山欣郎（大竹市長）」（別紙1参照）は、平成27年度総会及び第9回瀬戸内海首長サミットを開催します。

第9回瀬戸内海首長サミットでは、「クルーズ振興のための連携促進に向けて」をテーマに参加首長が議論を行い、サミット終了後に記者発表を行います。

- 日時 平成27年5月22日（金） 13:30 ～ 18:15
- 場所 福山ニューキャッスルホテル
（広島県福山市三之丸町8番16号 TEL 084-922-2121）

○ プログラム

【開会】13:30～13:55

- ・開会挨拶 瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会 会長 いりやま よしろう 入山 欣郎（大竹市長）
- ・来賓挨拶 広島県副知事 たかがき ひろのり 高垣 広徳
- ・来賓挨拶 国土交通省 大臣官房審議官 まつばら ゆたか 松原 裕
- ・歓迎挨拶 福山市長 はだ あきら 羽田 皓

【第1部】13:55～14:40

- ・平成27年度総会 平成27年度事業計画（案）・予算（案）等

【第2部】14:40～15:10

- ・講演 「瀬戸内海の魅力発信によるクルーズ振興が地域を変える」

講演者 大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授 あかい のぶお 赤井 伸郎 氏

【第3部】15:20～18:15

- ・第9回瀬戸内海首長サミット
テーマ「クルーズ振興のための連携促進に向けて」（別紙2参照）
参加予定首長（別紙3参照）
サミット終了後、記者発表。

※ 当日、会場には報道者席を用意しておりますので、受付にお申し出下さい。

<問い合わせ先>

瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会事務局（中国地方整備局港湾空港部内）

【担当】中国地方整備局 港湾空港部 082-511-3928（直通：平日・昼間）

事務局長 ゆう き まこと 由 木 誠（港湾物流企画室長）

よし だ ほう せい 吉 田 豊 成（課長補佐）

【広報担当窓口】 082-221-9231（代表：平日・昼間）

広報広聴対策官 ひら かわ まさ ふみ 平 川 雅 文（内線2117）

企画部 環境調整官 た お かず なり 田 尾 和 也（内線3114）



○会場図



出典：国土地理院HP

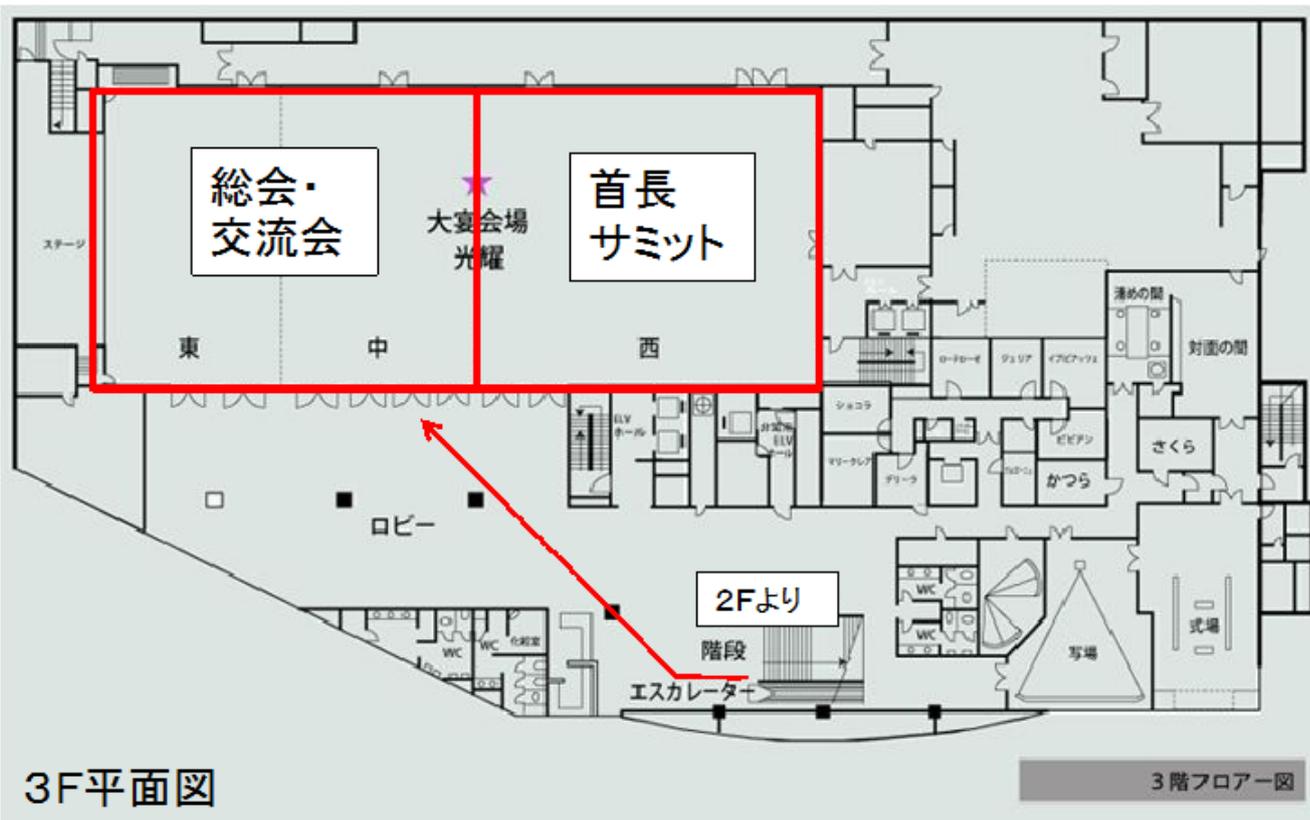
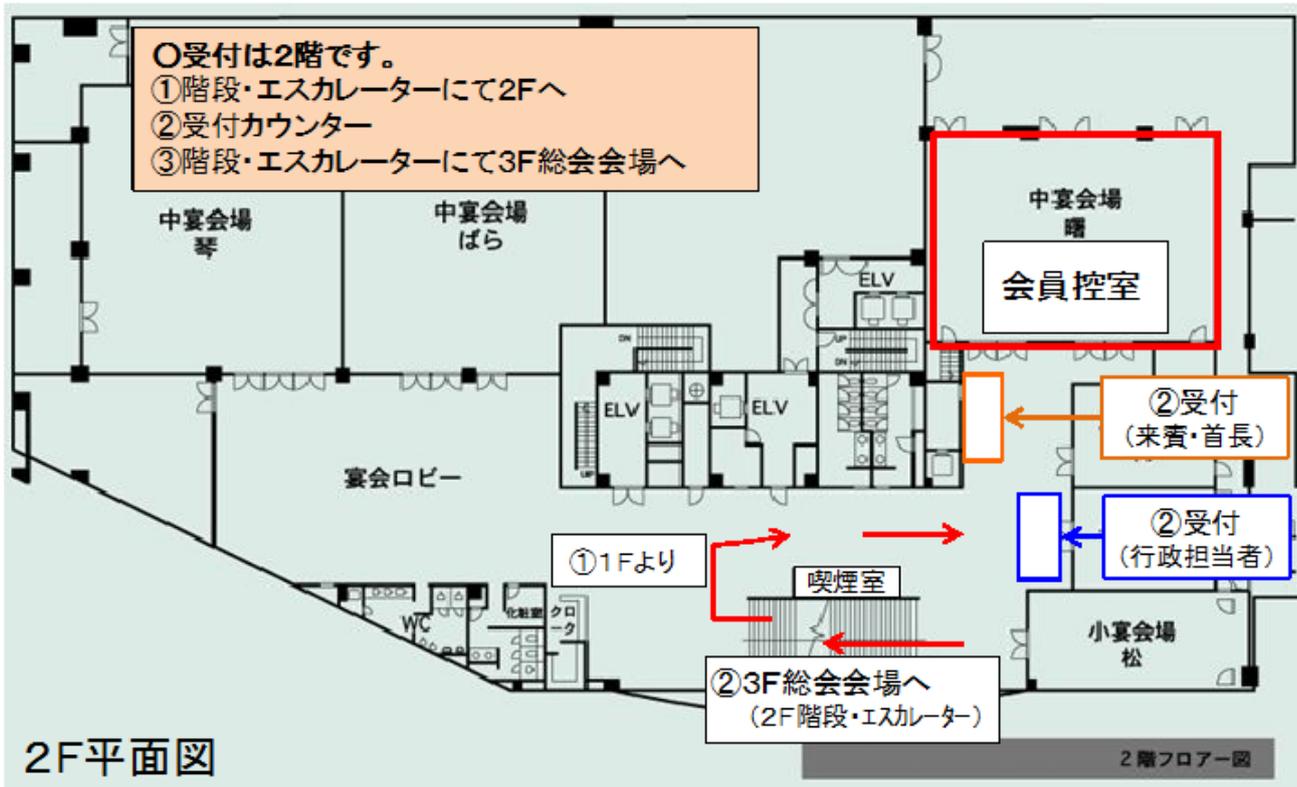
■会場までのアクセス

【J R ご利用の場合】

山陽新幹線、山陽本線「福山駅」南口より徒歩：約2分



○会場配置図（福山ニューキャッスルホテル）





海ネットの設置目的

瀬戸内海沿岸市町村相互の連携により、瀬戸内海の多様な資源を生かした人の流れを創り出し、防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を図りつつアメニティー豊かな地域として沿岸地域全体の発展に資することを目的とし、平成3年5月に設立された。(海ネット会長：入山 欣郎会長長(大竹市長))

海ネットの活動指針

- 高速海上交通時代に対応した今日的意義のある「**海の路の構築**」、並びに地震津波に対応した**防災ネットワークの整備**
- 瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等**インバウンド観光時代**における**瀬戸内の魅力発信**
- 失われた干潟、藻場の再生や災害、荒廃によるはげ山の修復等の**瀬戸内海的环境創造**

協議会の主な取組

「リフレッシュ瀬戸内」

「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉に海浜清掃活動を実施。平成5年より、延べ約182万人が参加、約1万7千6百トンのゴミを回収。また、環境美化活動へ活用するため、ゴミの組成調査「**海の健康診断調査**」を実施。



清掃の様子(香川県坂出市)

緊急物資輸送訓練

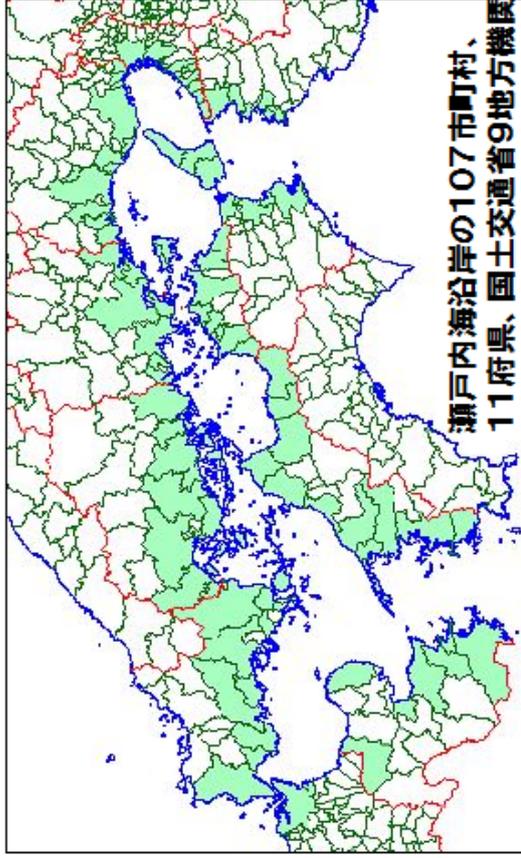
海ネット協定の実効性を高めるために、松山市と呉市との間で、船舶を利用した緊急支援物資輸送の訓練を初めて実施。



訓練の様子

海ネット会員

別紙1



瀬戸内海沿岸の107市町村、11府県、国土交通省9地方機関

「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」(海ネット協定)
70会員(50市19町1村)で締結(H26.12.17時点)
平時は瀬戸内・海の路を通じた地域振興や魅力発信により地域間の絆を深め、災害時には、平時に構築された瀬戸内・海の路ネットワークを活かして相互に応援を行うことを目的に締結された。



平成24年6月1日海ネット協定締結式

防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興

瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援協定の締結

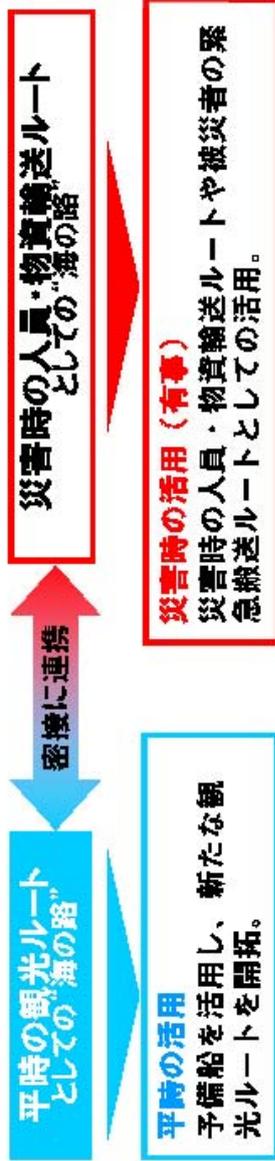
(目的)

第1条 この協定は、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会(海ネット)を構成する会員のうち、この協定を締結した会員(海ネット共助会員)が、海ネット共助会員の地域において地震等による災害が発生し、被災会員独自では十分な応急対応が出来ない場合に、**主に海の路を介した連携により**、相互に救援協力し、被災会員の応急及び復旧対策を円滑に遂行することを目的に締結するものである。

<省略>

(協定の実効性の確保)

第12条 海ネット共助会員は、**平素より相互に海の路を通じた交流・連携の推進を図りつつ、協定の実効性の確保に努めるものとする。**



応援の種類

- (1) 応急対策並びに応急復旧に必要な資機材及び物資の提供
- (2) 応急対策及び応急復旧に必要な職員の派遣
- (3) 医療機関への被災傷者等の受入れ
- (4) 被災者への臨時的な居住施設の提供
- (5) 前各号に定めるもののほか、特に要請があった事項

応援の実施

- ・海ネット共助会員は、応援の要請を受けた場合、可能な範囲でこれを実施する。
- ・海ネット共助会員は、応援の要請がない場合でも速やかに協議を行い、被災会員に応援が必要と判断したときは、応援を実施することができる。



瀬戸内・海の路ネットワーク
災害時相互応援に関する協定 締結式

平成24年6月1日海ネット協定締結式

70会員(50市19町1村)で締結(H26.12.17時点)

- (大阪府) 堺市、岸和田市、貝塚市、高石市、高石市、忠岡町、岬町
- (兵庫県) 姫路市、洲本市、南あわじ市、淡路市、播磨町
- (和歌山県) 海南市、湯浅町、由良町
- (岡山県) 玉野市、笠岡市、浅口市
- (広島県) 広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、大竹市、東広島市、廿日市市、江田島市、海田町、坂町
- (山口県) 下関市、宇部市、山口市、防府市、岩国市、光市、柳井市、山陽小野田市、周防大島町、上関町
- (徳島県) 小松島市、松茂町
- (香川県) 高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、直島町、宇多津町、多度津町
- (愛媛県) 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、上島町、松前町、伊方町、愛南町
- (大分県) 中津市、姫島村

◇	平成24年3月29日	28会員で締結
◇	平成24年5月22日	6会員が加入
◇	平成24年7月30日	7会員が加入
◇	平成24年10月29日	2会員が加入
◇	平成24年12月25日	4会員が加入
◇	平成25年3月27日	2会員が加入
◇	平成25年5月22日	4会員が加入
◇	平成25年10月25日	5会員が加入
◇	平成25年12月27日	4会員が加入
◇	平成26年3月28日	4会員が加入
◇	平成26年5月29日	2会員が加入
◇	平成26年12月17日	2会員が加入



第9回 瀬戸内海首長サミット

テーマ 「クルーズ振興のための連携促進に向けて」

<内 容>

これまでの瀬戸内海首長サミットでは、主に防災をテーマに掲げ、平成26年5月に開催しました「第8回首長サミット」において、「観光と防災の融合」をテーマに議論を行い、海ネット会員同士が連携して行う「観光」と「防災」に係る取り組みを促進させるため、活発な議論を交わしていただき、「第8回瀬戸内海首長サミット共同宣言 松山宣言」（以下「松山宣言」という）を採択しました。

我が国では今日、かつてない急激な人口減少時代を迎え、特に地方においてどう地域を活性化するかという「地方創生」が大きな課題となっています。一方では急増している外国人旅行者が日本の地方へ訪れる傾向が高まっており、観光が地方創生の重要な切り札となってきます。

瀬戸内地域では、瀬戸内ブランド推進連合の発足（兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県）や、瀬戸内しまのわ2014が開催（愛媛県、広島県）され非常に多くの方々でにぎわい、瀬戸内の魅力を発信する取り組みが活発化しており様々な地域交流が生まれました。

そのような中、我が国へのクルーズ船の寄港数は近年増加傾向にあり、とりわけ大型クルーズ船の寄港頻度が多くなり、海外から多くの観光客が訪れるようになってきております。

昨年はクルーズ船で日本を訪れた外国人観光客数が前年比2.4倍の約41万6千人となり、寄港回数も1204回と過去最高となりました。また、大型クルーズ船だけでなく、瀬戸内には各島々を結ぶ日常の離島航路も身近なクルーズとして楽しむことができます。

特に、瀬戸内海の多島美は我が国有数の観光資源であり、海外からの関心も高く、非常に多くの人々を魅了してきました。

このような瀬戸内の魅力を広く発信していく取り組みを今後、更に促進することにより、瀬戸内独自のクルーズ文化の確立を目指し、瀬戸内の魅力をこれまで以上に国内及び海外へ発信することによって、その経済効果を取り込むことが瀬戸内海の更なる発展につながります。

そこで、第9回瀬戸内海首長サミットのテーマを「クルーズ振興のための連携促進に向けて」と題し、瀬戸内海地域が一体となり、海ネット会員同士が連携して「クルーズ振興」に取り組むには具体的にどのような内容があるか、クルーズ船の寄港地における周辺地域も含めた一体的な取組にはどのようなことが必要かについて活発な議論を交わしていただきます。



第 9 回 瀬戸内海首長サミット参加予定首長（25 名）

（敬称略）

大阪府	高石市	さかぐち 阪口	しんろく 伸六
	岬町	たしろ 田代	たかし 堯
兵庫県	播磨町	しみず 清水	ひろこ ひろ子
和歌山県	和歌山市	おばな 尾花	まさひろ 正啓
	湯浅町	うえやま 上山	あきよし 章善
	由良町	はたなか 畑中	まさお 雅央
岡山県	玉野市	くろだ 黒田	すすむ 晋
	笠岡市	みしま 三島	のりもと 紀元
	瀬戸内市	たけひさ 武久	あきなり 顕也
	浅口市	くりやま 栗山	やすひこ 康彦
広島県	呉市	こむら 小村	かずとし 和年
	三原市	てんま 天満	よしのり 祥典
	尾道市	ひらたに 平谷	ゆうこう 祐宏
	福山市	はだ 羽田	あきら 皓
	大竹市	いりやま 入山	よしろう 欣郎
	江田島市	たなか 田中	たつみ 達美
	海田町	やまおか 山岡	かんじ 寛次
	坂町	よしだ 吉田	たかゆき 隆行
山口県	防府市	まつうら 松浦	まさと 正人
	周防大島町	しいき 椎木	たくみ 巧
香川県	坂出市	あや 綾	ひろし 宏



国土交通省

中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

愛媛県

八幡浜市

おおしろ いちろう
大城 一郎

上島町

うえむら としゆき
上村 俊之

福岡県

苅田町

よしひろ けいこ
吉廣 啓子

大分県

中津市

しんがい まさかつ
新貝 正勝